

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	新型コロナウイルス対策緊急助成事業
資金分配団体名:	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
実行団体名:	特定非営利活動法人環境保全創生委員会
実施時期:	2020年7月～12月
事業対象地域:	広島県
事業対象者:	

Version 3.2
日付: 2022年1月14日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>新型コロナ禍の中で、当地域においてはフードバンクがまだ設立されておらず、「こども食堂」等から設立要請が高まっていた。このタイミングで「休眠預金等交付事業」制度の存在を知り、本事業を実施するに至った。</p> <p>実施に当たっては、資金分配団体、広島市南区役所地域おこし推進課、地元宇品西社協等、官民の協力、支援により、食品等の受け入れは、順調に推移し、米、乾パン、ビスケット等12月末現在1,940kg（目標値750kg）の実績をあげることが出来た。</p> <p>受け入れ先は、農林水産省、広島県、広島市等から政府備蓄米、災害備蓄食品が主となっている。引き渡し先は、広島市母子寡婦連合会、小学校PTA、子ども食堂となっている。今後、安定的な受け入れ先と引き渡し先とのシステム構築が課題となっている。</p>
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>当初、本事業実施に当たり、目的は食品ロスと生活困窮者対策ということで、比較的単純に考えていた。しかし、事業実施に当たって実務面では入りのパイプ（食品提供）と出のパイプ（食品供給）の調整が非常に難しいことが分かった。</p> <p>今後、継続的にフードバンク活動を行うためには、食品受け入れは確保可能であるが、むしろ最適な提供先に対する、食品の種類、量、質等経験を積み重ね、バランスの取れた事業展開が求められる。従って、できれば地域ごとに「フードバンクのためのフードバンク」を設置し、効率的にフードバンクを立ち上げ、社会的認知度を高めることが必要と考えられる。</p> <p>今後、継続的自己完結型フードバンク事業の展開は、資金面、人材面で、大きな課題を解決しなくてはならない。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
子ども・学生	食料関連の不足	冷蔵冷凍庫等が揃い、清潔な保管機能を有した倉庫が整備されている。	倉庫の完成の有無	計画通りの倉庫ができていること	計画通りの倉庫ができている	
子ども・学生	食料関連の不足	フードバンク機能が整い、事業が行われている状態になっている。	A:支援者数 B:物資量 C:仕組みの有無 D:人材の有無	A:3団体 B:750kg C:事業が問題なく行われている D:運営委員会（2～3回開催）、開催されている会議に全て参加	A:6団体、個人3名 B:1,940kg C:問題なく行われている D:参加している	今後、地元のこども食堂等とも協議し、「広島南フードバンク協議会」の設立について検討している。
その他	その他	運営委員会が運営され、広島フードバンク協議会へも参加している。	運営委員会が運営されている、協議会へ参加している。	実態の確認	ZOOM会議を行った	フードバンク運営者間での連携

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>今後受け入れ施設の整備をしつつ、寄附者と受贈者との安定的なバランスを図っていく。寄附者としては、NPO法人会員、地方自治体に働きかけ、受贈者としては、老人いこいの家利用者、PTA、こども食堂等と食品提供事業の合意を整え、南区で存在を認められるフードバンクとして活動している。</p>
考察等	<p>今後、フードバンク事業を継続するためには、ボランティア事業、活動資金の確保が必要であり、当面は、当NPO法人からの繰り入れにより資金確保が出来るが、長期的には、寄付金や収益事業の展開を検討する必要がある。併せて、これまでの食品受け入れ先、提供先のフォローアップ（要望を把握し、最適な食品の種類、量、品質）を確保するために、関係先等各方面にアンテナを張り、期待に添えたいと考えている。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
①フードバンク拠点（倉庫）に冷蔵冷凍庫等をそろえ、清潔な補完機能を有した倉庫整備を行う。	計画通り	食品保管は、品質保持が可能となり好評を得た。
②フードバンク機能の整備 物資支援者の獲得、物資提供者の獲得、流通の構築、担い手の確保	ほぼ計画通り	ボランティアや活動資金の確保が必要であり、長期的には寄付金や収益事業の展開を検討する必要がある。
③フードバンク運営の整備 運営委員会の設立・運営、広島フードバンク協議会への参加、広報・寄付戦略	ほぼ計画通り	広報活動においては、ホームページ他、様々な広報誌、新聞等に掲載されている（別紙参照）。寄附については、これまでの提供先のフォローアップをしつつ、新規で開拓する必要がある。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>広島競輪場は、このたび全面建て替えすることとなっている。この機会をとらえ、地元競輪場対策施設地元運営委員会を通じ、同施設内に「フードバンクのためのフードバンク」施設の併設について、正式要請した。</p> <p>なお、当NPO法人理事長は地元運営委員会の副会長を仰せつかっている。</p> <p>当地域では初めてのフードバンク創設となり、地域住民から大きな関心と個人寄付者も増えている。</p>
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>この度の事業で、1,9400kgの米・乾パン・ビスケット等の提供を受け、子育て中の家庭、小学校PTA、母子寡婦協会、地元町内会等へ提供し、大変喜ばれた。また、フードバンクという事業に対しイメージはあったものが、実際に活動状況を見て、その必要性を認識した人が多くいる。行政関係者もフードバンクの認識が高まり、受け入れ、引き渡しの斡旋体制が整いつつある。</p>
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
宇品西地区社会福祉協議会	寄附のあっせんや、諸行事の共同開催等
宇品西地区民生委員児童委員協議会	民生・児童委員に対し、フードバンク活動の理解を得、協力を得ている。
広島市宇品老人いこいの家	災害用食品「ビスケット」を利用者に配布、一定期間常時展示し、自由に持ち帰り配布している。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	6,789,000	6,821,847	100.5%
	管理的経費	1,211,000	1,211,440	100.0%
合計		8,000,000	8,033,287	100.4%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	①自社HPに掲載 ②県立広島大学HPに掲載 ③宇品西社協福祉だよりに掲載 ④10/15付け中国新聞「大学生を食でサポート」記事が掲載 ⑤12月南区広報誌「コミ協ニュース」に掲載 ⑥広島市母子寡婦連合会、子供の手紙と写真の提出
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	自社HPの整備充実
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	今回の助成取得したすべての機器類に貼り付け完了
4.報告書等	資金分配団体に定例報告等必要事項を報告

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	

②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3. 関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4. コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	
5. ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6. 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	団体の監事による監査を実施し、監査報告書の提出を受けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7. 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金を申請、または受領していますか。	いいえ	
8. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	

XII. その他

自由記述
<p>①本年3月開催予定の広島市南区等が主催する「港フェスタ」にフードバンクコーナーを設け、希望者に災害備蓄用ビスケットや精米の配布を予定している。</p> <p>②今回食品を提供した団体の中に、今後定期的定量的な提供を一部期待されているが、当NPO法人独自の財務的、マンパワーでは十分な提供は難しい状況にある。従って、規模の縮小はあるものの当NPO法人本体からの資金支援とボランティアの参画で乗り切っていくこととしている。現在、法人正会員の増と収益事業を検討し、引き続き規模の拡大、充実を目指し、当地域で期待されるフードバンクとして展開したく考えている。</p>